

# 新横須賀市史 資料編 近世 I

## 総 目 次

上梓に寄せて

凡 例

横須賀の近世を学ぶために

資料編

第一章 近世の成立と三浦半島	1
第二章 浦賀奉行所の支配・機構	103
第三章 村の暮らしと生業	137
第四章 商業と流通	47
第五章 街道の負担と渡船場	313
第六章 寺社と村びと	591
第七章 異国船来航と海防体制	705
第八章 ペリー來航	831
第九章 開国から維新へ	947
資料解説	1145

## 卷末付録

あとがき

横須賀市史編さん関係者・協力者

### 口 絵

- 諸国湊道のり附（横須賀市自然・人文博物館所蔵）
- 天保国絵図（国立公文書館所蔵）
- 秋谷村絵図（若命寿男氏所蔵）
- 相模国三浦郡田浦村之図（横須賀市教育委員会所蔵）
- 浦賀湊真図（神奈川県立歴史博物館所蔵）
- 平根山御備場絵図（東京都立中央図書館所蔵）
- 浦賀湊之図（盛岡市中央公民館所蔵）
- 三浦古尋録（国立公文書館所蔵）
- 野比村最宝寺境内図（最宝寺所蔵）
- ハイネ画・ペリー久里浜上陸図（横須賀市自然・人文博物館所蔵）
- 異国船浦賀入港諸藩警固之図（函館市中央図書館所蔵）
- 相州三浦郡横須賀製鉄所分見地割（横須賀市自然・人文博物館所蔵）

## 細 目 次

### 細 目 次

第三章 村の暮らしと生業	
第一節 年貢・諸役等負担	139
21 宝永五年三月 澄浚船役銀負担九か村の役負担経緯につき返答書	139
22 (宝曆一年) 朝鮮使来朝時の藤沢宿差出し物(魚類代銀など)につき返答書	140
23 嘉永三年四月 文化三年年貢割付状写しおよび御普請所の書上帳	141
24 嘉永三年六月 三浦郡・鎌倉郡村々肴・薪仲買運上免除願い	147
25 嘉永六年三月 郡中入用一件内済につき仮議定書	148
26 嘉永六年三月 預所村々菜種など上納免除につき請書	149
27 嘉永七年六月 預所三か村幕領並高掛三役上納につき請書	150
28 嘉永七年七月 秋谷村橋普請入用につき勘定所宛預所役人伺い書	151
第二節 村の生活	164
37 貞享四年六月 東西浦賀村・大津村境論裁許書写し	164

第一章 近世の成立と三浦半島	
第一節 三浦半島の村むら	49
1 延宝四年四月 相模国三浦郡中石高帳	49
2 元禄一五年七月 相模国三浦郡郷帳	53
3 (元禄一五年) 相模国三浦郡郷帳	56
4 延享四年一月 浦方村々書上	60
5 (年不詳) 二四か村村高書上	62
第二節 三浦半島の領主	68
6 文禄三年九月 長谷川長綱禁制	68
7 (年不詳) 旗本向井家略系譜	68
8 元和六年閏一二月 向井正綱寄進状	69
9 (文化八年) 長井村代々支配領主書上	69

第二章 浦賀奉行所の支配・機構	
19 (年不詳) 浦賀番所規定・願書書式・問屋職勤め方などの書上	105
20 (年不詳) 浦賀奉行預所・役知郷村請取り渡し書付(享保以来の変遷)	121

第三節 檢地と年貢	70
10 天正一九年閏正月 天正検地帳	70
11 寛永一九年一二月 浦賀村年貢割付状	89
12 正保四年一二月 浦賀村年貢割付状	91
13 天和元年一一月 佐原村年貢割付状	92
14 元禄三年一〇月 佐原村年貢割付状	95
15 元禄五年一一月 西浦賀村年貢割付状	96
16 元禄五年一一月 東浦賀村年貢割付状	99
17 元禄七年一一月 東浦賀村年貢割付状	99
18 元禄七年一一月 東浦賀村年貢割付状	99
19 宽文四年一〇月 佐原村年貢割付状	49
20 天保四年一一月 長井村年貢割付状	49
21 正保四年一二月 浦賀村年貢割付状	49
22 天和元年一一月 佐原村年貢割付状	49
23 元禄五年一一月 西浦賀村年貢割付状	49
24 元禄五年一一月 東浦賀村年貢割付状	49
25 元禄七年一一月 東浦賀村年貢割付状	49
26 元禄七年一一月 佐原村年貢割付状	49
27 元禄七年一一月 佐原村年貢割付状	49
28 元禄七年一一月 佐原村年貢割付状	49



## 細 目 次

84	(延享元年)三月 下山口村・秋谷村浦境相論につき秋谷村返答書下書	233
85	延享元年六月 下山口村・秋谷村の村境・海境・越石場境相論内済証文	235
86	延享二年六月 大津村・公郷村魚獵場海境論裁許書	238
87	宝暦一二年二月 八幡村と西浦賀村の漁場出入り相論につき評定所宛八幡村返答書	239
88	(文化一四年) 大島鰯漁船へ生餌差出し難き旨島方役人中宛申上げ書	243
89	天保八年九月 御大礼御用活鰯御用向きにつき番脚通行手形	243
90	天保一三年二月 野比村・久比里の御用蛎取り提げ方相論につき野比村口上書	244
91	安政三年八月 活鰯御用勤めの経緯ほか永嶋庄司名主勤中の書上	245
92	文久二年一〇月より すばしり諸控え(將軍上院ほか)	249
93	慶応三年七月 六人網株式難渉につき御救仕法遵守の証文	261
94	決め証文	281
95	宝暦一二年四月 久比里浦入会一件につき連印証文	282
96	安永七年六月 新三郎・新四郎持ち地譲渡につき変更願い	285
97	寛政五年一〇月 潮除け堤欠損につき水門樋普請願い	286
98	寛政六年九月 村入用書張置きの件につき伺い書き請証文	287
99	寛政八年五月 割付皆済日録へ小前百姓拝見書連印につき両組名主願書	288
100	寛政一一年一一月 水門樋普請御手当金下付につき請証文	288
101	寛政一二年三月 不作につき貯穀御免願い	289
102	享和二年四月 新三郎欠落一件につき吟味願い	290
103	文化三年より 水門樋破損につき御普請願いおよび大貫代官の勘定所への伺い書	291
104	文政四年六月 与兵衛組浦賀奉行所預所・役知に支配替えにつき分郷請証文	295
105	文政八年三月 水門樋橋普請大工手間積立帳	296

第四章 商業と流通

明治四年三月 御新編『考文配名目切替え』証文  
311

127 126 第一節 全国的な物資流通と浦賀湊  
文化八年より 煎海鼠仕切状 315  
天保四年三月より 浦賀奏水揚<sup>テ</sup>の水油の及ハ方 315

<p><b>第三節 干鰯の流通と干鰯問屋</b></p> <p>128 天保七年九月 菱垣廻船荷物につき江戸問屋願出 1件 349</p> <p>129 天保七年九月 下り塩につき江戸問屋との掛合 1件 352</p> <p>130 天保一〇年一一月より 浦賀水揚荷物につき書上 358</p> <p>131 天保一三年 浦賀湊水揚荷物扱い方につき書上 371</p> <p>132 嘉永七年一〇月 下り塩につき江戸問屋との掛合 1件 373</p> <p>133 文久二年正月 大豆買入れに関する書状 慶応三年正月 浦賀水揚商品書上 378</p> <p>134 文久二年正月 大豆買入れに関する書状 慶応三年正月 浦賀水揚商品書上 375</p> <p>135 明和六年一〇月より 押送船極印願いなど川船役 所への届書 399</p> <p>136 (嘉永五年)正月より 鎌倉郡片瀬村廻船手形 402</p> <p>137 (年不詳)一〇月より 浦賀商人送り状 406</p>	<p>138 元禄五年三月より 東浦賀干鰯問屋旧記 410</p> <p>139 嘉永元年一二月より 干鰯仕切状 426</p> <p>140 嘉永四年三月より 干鰯問屋再興につき 429</p> <p>141 嘉永四年六月より 干鰯問屋再興につき東浦賀と 西浦賀掛合一件 433</p> <p>142 安政六年正月 干鰯問屋商法改め方書上 441</p> <p>143 文久三年正月 大住郡須賀湊商人干鰯買入れにつ き出入り一件 447</p>
<p><b>第五章 街道の負担と渡船場</b></p>	
<p><b>第二節 江戸内湾や相模湾を中心とする地域の流 通と廻船</b></p> <p>147 文化一五年三月 金沢町屋村加助郷人足ならびに 鎌倉郡大筒御用人足免除願い一件書留 470</p> <p>148 弘化四年四月 彦根藩家来御備場海岸見分につき 人馬継立て宿々村々請印帳 479</p> <p>149 嘉永元年四月 浦賀奉行所御尋ねにつき三浦郡・ 鎌倉郡人馬継賃錢書上 480</p> <p>150 嘉永元年七月 駿場人馬ならびに夫役人馬過分難 渋につき彦根藩への願書 484</p> <p>151 安政四年八月 繼立て中荷物紛失につき秋谷村詫 び状 490</p> <p>152 嘉永元年四月より 将軍家茂進発につき藤沢宿当 分助郷申付けなど諸役控え 490</p> <p>153 正徳元年一一月 朝鮮通信使來朝につき馬入川船 橋御用覚え 496</p> <p>154 享保二三年二月 下平作村組合九か村の日光社參 御用人馬役免除願い 497</p> <p>享保二三年四月 将軍吉宗日光社參につき触書な (天保九年) 上総国より大山參詣の渡船出入り一</p>	<p><b>第一節 脇往還の継立てと東海道</b></p> <p>144 宝暦二二年二月 三浦郡秋谷村など一七か村へ鎌 倉雪之下村継立て人馬触れ當ての村触 451</p> <p>145 文化二年六月より 鎌倉雪之下村助郷触れ當てに つき三浦郡助郷村々との出入り一件書留 452</p> <p>146 文化五年四月 幕府鉄砲方役人御台場・御備場見 ならびに役水主勤め方御用留 499</p> <p>147 延享四年六月より 朝鮮通信使來朝につき三浦郡 の御用日記 514</p> <p>148 延享四年九月 浦賀・三崎町・城ヶ島朝鮮人來朝 人馬役御免申渡し 526</p> <p>149 安永四年閏一二月 将軍家治日光社參につき願書 ならびに旧記書上など控え 527</p> <p>150 天保一四年四月 将軍家慶日光參詣留守中浦賀表 御固め御用につき諸控え 547</p> <p>151 文化一〇年正月より 横須賀村など渡船場出入り につき議定書 577</p> <p>152 文政二年一〇月 渡船差し止め一件につき洲崎村 惣代頼み一札 583</p> <p>153 (文政二年) 保土ヶ谷宿との野島浦渡船出入りに つき洲崎村返答書 586</p> <p>154 天保九年七月 上総国より大山參詣の渡船出入り 一件につき一札 587</p>
<p><b>第三節 渡船場と渡し船</b></p>	
<p>160 文政二年一〇月 渡船差し止め一件につき洲崎村 惣代頼み一札 583</p> <p>161 文政二年一〇月 渡船差し止め一件につき洲崎村 惣代頼み一札 583</p> <p>162 (文政二年) 保土ヶ谷宿との野島浦渡船出入りに つき洲崎村返答書 586</p> <p>163 天保九年七月 上総国より大山參詣の渡船出入り 一件につき一札 587</p>	<p>164 (天保九年) 上総国より大山參詣の渡船出入り一</p>



細目次

<p>210 文政二年三月 長安寺住持檀方請代願い 658</p> <p>211 (天明元年)九月 秋谷村神明社宮守若命勘解由許 状下付願い 659</p> <p>212 天明元年一〇月 秋谷村神明社宮守若命勘解由祠 官許状願い 660</p> <p>213 天明元年一月 若命豊後藤原家房神道裁許状 660</p> <p>214 文政五年正月 神職退任につき正行寺檀方復帰願 い 660</p> <p>215 (文政二三年) 神職継目願い 661</p> <p>216 文政二三年三月 若命豊後藤原秀茂神道裁許状 661</p> <p>217 文政二三年五月 名主退役につき勘解由神職勤務 願い 662</p> <p>218 天保三年三月 神道葬祭につき離檀願い 662</p> <p>219 安政六年一〇月 神明社へ神社号願い 663</p> <p>220 万延元年八月 秋谷神社号免許につき出府暇願い 663</p> <p>221 享保一七年閏五月 八幡社地・不動堂地支配につ き村役人口上書 664</p> <p>222 享保一七年閏五月 不動堂地支配連判一札につ き八幡村・久里浜村口上書 665</p> <p>223 (享保一八年) 八幡村不動支配出入りにつき八幡 久里浜村口上書 666</p>	<p>第五節 八幡久里浜村不動支配一件 664</p> <p>224 元文二年三月 天神島磯根につき最岸寺訴状 668</p> <p>225 天明六年一二月 最岸寺藻草運上請取帳 669</p> <p>226 嘉永二年一一月より 御朱印地書上 679</p> <p>227 安政六年六月 天神社領朱印状写し 680</p> <p>228 安政六年一二月 御朱印天神宮島藻草御運上請取 状 684</p> <p>229 明治二年八月 天満宮神主願い 684</p> <p>230 明治四年七月 元朱印地天神社領田畠取調べ書上 685</p> <p>231 嘉永二年三月 西叶神社普請につき勸化帳 686</p> <p>232 天保五年三月 最宝寺より金子借用証文 697</p> <p>233 元治元年六月 内海台場用石類納入につき学席相 続出世金拝借証文 697</p> <p>234 正徳五年二月 聖徳寺・檀方争論につき帰檀一札 698</p> <p>235 明和六年二月 半檀家につき一札 699</p> <p>236 寛政二年一二月 秋谷村神明社神事祭礼につき 書上 699</p> <p>237 文政二年二月 大和廻り案内人日雇一札 700</p> <p>238 弘化四年三月 諏訪明神木釘打ち一件詫狀 701</p> <p>239 安政五年四月 祭礼につき香具師止宿渡世一札 702</p> <p>240 安政六年八月 とみ剃髪ながら不正の宗派でない 旨一札 702</p> <p>241 明治四年正月 夫婦の誓い 703</p> <p>242 (年不詳) 忠次郎埋葬につき一札 704</p> <p>243 元文四年八月 浦賀入津の廻船へ異国船など不審 船通報の申渡し 707</p> <p>244 寛政四年一二月 海岸防備強化の申渡し 707</p> <p>245 文政元年八月 イギリス船ブラザース号来航始末 書写し 707</p> <p>246 文政五年五月 イギリス船サラセン号来航につき 給与品書上 711</p> <p>247 天保八年六月より アメリカ船モリソン号渡来に つき浦賀奉行報告書 711</p> <p>248 (天保一〇年)二月 浦賀警衛の諮問につき川越 藩・小田原藩家來の答書 716</p>
<p>第一節 異国船来航と警衛状況 707</p> <p>第七章 異国船来航と海防体制</p>	<p>第一節 異国船来航と警衛状況 707</p>

249	天保一〇年三月 平根山・觀音崎両御備場および安房崎遠見番所の大筒配備状況	719
250	天保一〇年三月 海岸見分につき鳥居耀藏意見書および評議書	720
251	天保一〇年四月 海岸見分につき江川英竜意見書	727
252	弘化三年六月 ビッドル艦隊来航につき武州金沢(六浦)藩の援兵記録	731
253	弘化三年六月 ビッドル艦隊来航につき浦賀奉行組与力見習中島三郎助書簡	738
254	(弘化三年) ビッドル艦隊来航に関する浦賀商人記録	739
255	弘化四年正月 異国船来航時の固船差出しにつき浦賀奉行・川越藩・忍藩への老中達し	743
256	弘化四年三月より 異国船来航時の心得方ならびに伺書留	744
257	弘化四年八月 異国船乗留め心得方など伺い書	754
258	嘉永二年閏四月 イギリス船マリナー号来航につき浦賀より來状	756
259	嘉永二年閏四月 イギリス船マリナー号来航につ	
269	弘化五年正月より 浦賀奉行所手付出役として砲術師範招聘につき評議	781
270	嘉永元年五月より 小屋普請不出来のまま増員与力同心浦賀へ出立につき評議	784
271	嘉永元年六月より 紅毛小通詞並堀達之助通弁巧者につき交代期限延長の評議	786
272	嘉永元年八月より 西洋辞書・地図下付願いにつき評議	788
273	嘉永二年二月より スループ形船建造につき入用取調べの評議	790
274	嘉永二年六月 砲術教授として下曾根金三郎浦賀派遣の申渡し	791
275	嘉永二年六月より 下田丸造替えにつき評議	791
276	嘉永三年八月 近海見分につき蒼隼丸乗試しなどの報告書	796
277	文化九年六月 異国船来航時の駆着人歩差出し方につき申渡し	798

### 第三節 海防と村むら

276 (嘉永三年) 台場見分につき諸入用勘定書上

287 嘉永五年正月 台場普請の請負につき上申書

288 嘉永五年正月 台場普請の請負につき願書

289 嘉永五年九月 台場取建てにつき年貢上納継続請

き浦賀奉行からの注進 758

### 第二節 浦賀奉行所の改革

260	弘化四年七月 浦賀奉行座順昇格につき評議	761
261	弘化四年八月より 西洋文字による諭書引替えの評議	764
262	弘化四年九月 長崎より剣付西洋小筒五〇挺廻送につき評議	767
263	弘化四年一〇月より 浦賀奉行支配組頭二名新規取立て願いにつき評議	769
264	弘化四年一〇月より 与力同心増人組屋敷・家作および鶴崎番所・三崎役宅普請につき評議	772
265	弘化四年一二月より 浦賀奉行組与力同心の江戸詰め人数減方につき評議	774
266	弘化四年一一月より 三崎表押送形船新造につき韋駄天丸命名の評議	775
267	弘化四年一二月より 押送形船新造につき水主増人および扶持方の評議	776
268	弘化四年一二月より 紅毛通詞・唐通事の夏秋中浦賀詰手當につき評議	777

290	嘉永元年五月 異国船来航時の焚出しなど賄い方の覚え	805
288	弘化二年三月 アメリカ船メルカドル号来航につき役船數書上帳	808
287	弘化四年五月 千駄崎台場取建てにつき一札	809
286	弘化四年五月 三崎陣屋引越しにつき下宿割帳	811
285	弘化四年一〇月 非常御用時の米搗立て・積送りにつき上申書	813
284	嘉永元年五月 上宮田・三崎御備船割付帳	814
283	嘉永三年六月 台場見分につき菓子代下付願い	820
282	弘化四年八月 台場要用の諸品貸渡しひつき書上	821
281	嘉永三年六月 台場見分につき菓子代下付願い	820
280	弘化四年五月 千駄崎台場取建てにつき一札	809
279	弘化四年五月 アメリカ船メルカドル号来航につき役船數書上帳	808
278	文政元年五月 異国船来航時の焚出しなど賄い方の覚え	805
277	嘉永元年五月 上宮田・三崎御備船割付帳	814
276	嘉永元年五月 台場見分につき菓子代下付願い	820
275	嘉永三年六月 台場見分につき菓子代下付願い	820
274	嘉永二年六月 砲術教授として下曾根金三郎浦賀派遣の申渡し	791
273	嘉永二年二月より スループ形船建造につき入用取調べの評議	790
272	嘉永元年八月より 西洋辞書・地図下付願いにつき評議	788
271	嘉永元年六月より 紅毛小通詞並堀達之助通弁巧者につき交代期限延長の評議	786
270	嘉永元年五月より 小屋普請不出来のまま増員与力同心浦賀へ出立につき評議	784
269	弘化五年正月より 浦賀奉行所手付出役として砲術師範招聘につき評議	781

290	嘉永元年五月 異国船来航時の焚出しなど賄い方の覚え	805
288	弘化二年三月 アメリカ船メルカドル号来航につき役船數書上帳	808
287	弘化四年五月 千駄崎台場取建てにつき一札	809
286	弘化四年五月 三崎陣屋引越しにつき下宿割帳	811
285	弘化四年一〇月 非常御用時の米搗立て・積送りにつき上申書	813
284	嘉永元年五月 上宮田・三崎御備船割付帳	814
283	嘉永三年六月 台場見分につき菓子代下付願い	820
282	弘化四年五月 千駄崎台場取建てにつき一札	809
281	弘化四年五月 三崎陣屋引越しにつき下宿割帳	811
280	弘化四年一〇月 非常御用時の米搗立て・積送りにつき上申書	813
279	弘化四年五月 台場見分につき菓子代下付願い	820
278	文政元年五月 異国船来航時の焚出しなど賄い方の覚え	805
277	嘉永元年五月 上宮田・三崎御備船割付帳	814
276	嘉永元年五月 台場見分につき菓子代下付願い	820
275	嘉永三年六月 台場見分につき菓子代下付願い	820
274	嘉永二年六月 砲術教授として下曾根金三郎浦賀派遣の申渡し	791
273	嘉永二年二月より スループ形船建造につき入用取調べの評議	790
272	嘉永元年八月より 西洋辞書・地図下付願いにつき評議	788
271	嘉永元年六月より 紅毛小通詞並堀達之助通弁巧者につき交代期限延長の評議	786
270	嘉永元年五月より 小屋普請不出来のまま増員与力同心浦賀へ出立につき評議	784
269	弘化五年正月より 浦賀奉行所手付出役として砲術師範招聘につき評議	781

細 目 次

291	嘉永五年九月 御用地につき觀音崎畠地引歩承知の請書	828
292	(嘉永五年)一〇月 鴨居台場普請の褒賞書上	829
293	嘉永六年六月 異国船渡來覚え	833
294	嘉永六年六月 浦賀奉行組同心書簡写し	833
295	嘉永六年七月 浦賀奉行組与力からの聞書	833
	嘉永六年七月 浦賀奉行組与力からの聞書	834
296	嘉永六年六月 川越藩の警衛記録	848
297	嘉永六年六月 浦賀および江戸市中警衛につき書留	886
298	嘉永六年八月 加賀藩の異国船見聞録	897
	嘉永六年八月 加賀藩の異国船見聞録	897
299	嘉永六年六月 川越藩の警衛記録	848
300	嘉永六年六月 ペリー提督口上書およびアメリカ大統領副翰写し	934
301	嘉永七年正月 ペリー再来航時の饗応の様子および狂歌など留書	935
302	(年不詳) ペリー来航の狂歌	945
311	慶応二年一〇月 機械陸揚げ入用請取方の書付	1019
312	(慶応二年) 牛込忠左衛門、製鉄所伝習人取締役仰せ付けの達し	1021
313	慶応三年正月より ヴエルニーの申立てにつき洋銀支払い方の上申	1021
314	慶応三年三月 横須賀製鉄所番兵の手当につき書付	1025
315	慶応三年六月 麻薺など納め方請負人につき書付	1025
316	慶応三年六月 製鉄所建物の普請向請負人につき書付	1026
317	慶応三年七月 浦賀奉行、製鉄所奉行へ用談申入れにつき書付	1026
318	慶応三年九月 製鉄所通弁立広作手当につき書付けにつき書付	1027
319	慶応三年九月 伴野三次郎、製鉄所取締掛仰せ付けにつき書付	1028
320	慶応三年一〇月 船材買上げにつき書付	1028
321	慶応三年一〇月 製鉄所の諸術伝習人手当につき書付	1031
322	慶応三年一〇月 幕府軍艦蟠竜船、修復完了のうえ品川へ帰帆につき届書	1032
323	慶応三年一一月 仏人デスパー二、絵図引方とし御雇いにつき書付	1032

付

1025

諸控え

973

第二節 横須賀製鉄所

.....

985

書付

.....

991

書付

.....

991

書付

.....

1027

書付

.....

1028

書付

.....

(2) 横須賀製鉄所の運営

.....

1018

1019

1021

1021

1028

1028

1028

1028

第八章 ペリー来航

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

